

**当院で房室結節リエントリー性頻拍に対する  
カテーテルアブレーション治療を受けます患者さんへ**

当科では「房室結節リエントリー性頻拍における多電極カテーテルによる高密度マッピングの有用性を検討する研究」を実施しています。この前向き観察研究では、房室結節リエントリー性頻拍(以下 AVNRT)に対してカテーテルアブレーション治療を受けた患者さんを対象として、データの収集を行います。研究目的・研究内容詳細は以下に記載する通りです。

**【研究目的】** AVNRT へのカテーテルアブレーションは 10 年以上前に確立されていますが、稀な病型に対する対応、また房室ブロック合併症のリスクへの対応については進歩が少ないのが現状です。本研究は新しい電極カテーテルおよび高密度マッピングを用いて、さらに手技を確実に安全に実施する手法を考案することを目的としております。

**【研究概要】**

1. 本研究の対象となる患者さん

当院にて 2023 年以降に AVNRT へのカテーテルアブレーションを受ける方

2. 本研究の研究期間

倫理委員会承認後から 2025 年 9 月 31 日まで

3. 本研究で収集するデータ

当院で、カルテから得る患者基本情報(年齢・性別・身長・体重・基礎疾患・投与薬剤画像検査結果・手技・治療結果・合併症など)および術後経過情報(不整脈の再発の有無・合併症など)、カテーテルアブレーション中のマッピング情報を当院で解析します。

本研究で得られたデータは匿名化の上データベースとして保管し、循環器内科内で厳重に管理いたします。今回の研究結果は国内外の学会や学術雑誌上で公表されます。今回のデータを用いた新たな研究を行う場合には改めて告知いたします。

この研究は人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を守って実施されます。通常のカテーテルアブレーション治療の範疇で行われる検査・治療ですので患者さんに対して新た合併症リスクや不整脈再発リスクが生じるわけではありません。研究結果の発表時には個人情報が開示されることはありません。患者さんに何らかの利益・不利益が生じることはありません。研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。

患者さんには研究主旨をご理解頂き、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。この掲示ポスターで研究について公示することで、同意を頂いたものとさせて頂き、研究を進めさせて頂きます。研究への参加を希望されない場合や質問がございましたら、主治医にお申し出いただくか、もしくは下記へご連絡下さい。

武蔵野赤十字病院循環器科  
住所 東京都武蔵野市境南町 1-26-1  
電話 0422-32-3111 (平日 10-17 時)  
担当者名 堀江知樹、永田恭敏